

反動の嵐に抗して！	2011年	JR 東海労働組合
	2月21日	台車検査車両所分会
	No.11	発行者 西村泰弘 編集 教宣部

定年退職された社員の通知が紙切れ一枚？

これが会社の正体だ！！

1月末で当車両所のある先輩が退職されました。
先輩はただいま病気療養中です。
退職前に職場のみんなにひとこと挨拶したかっただろうと思います。

ところで、私たち社員は先輩の退職をなんと会社の掲示板で知りました。
国鉄時代から40数年働いてきた先輩の退職という事実を、なんと掲示板にはられた紙切れ一枚でしか知らされなかったのです。

1月31日、2月1日と総点呼があったのに…、なんで、所長はひとこと先輩の退職について知らせないのでしょうか？
会社は暖かみのある風通しの良い職場を作ろうとよく言います。
しかし、今回のことからみても、まったくそんな意志なんて無いことがはっきり分かります。

会社は私たちをどんな風に扱っているのでしょうか？
私たちのことを、機械の部品の一つにしか思っていないのではないのでしょうか？

ところで、先輩が所属していた、ユニオンはこのことに何も言いません。
何も言わないということは、会社と同じように組合員を機械の一部とと思っているのでしょうか？